

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月6日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 唐木 康正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務担当 (氏名) 中川 克夫

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成20年8月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	8,115	—	△257	—	△262	—	△239	—
20年3月期第1四半期	7,961	9.5	△369	—	△376	—	△237	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△11.99	—
20年3月期第1四半期	△11.92	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	20,369	7,460	7,460	36.6	373.77	
20年3月期	19,985	7,808	7,808	39.1	391.21	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,460百万円 20年3月期 7,808百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	5.50	5.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	16,700	1.1	△10	—	△50	—	△100	—	△5.01
通期	34,200	3.9	790	22.3	700	11.7	240	3.2	12.02

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2)四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 19,960,000株 20年3月期 19,960,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 83株 20年3月期 83株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 19,959,917株 20年3月期第1四半期 19,960,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記の業績予想は、本資料の発表時現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。日本経済、競合状況、株式市況等に不透明な面があり、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。なお、詳細につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2.当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

当第1四半期(平成20年4月1日～平成20年6月30日)においては、4月に一橋大学小平国際キャンパス如水スポーツプラザ(東京都小平市)の業務受託を開始し、5月に曳舟(東京都墨田区)、6月に仙台南光台(仙台市泉区)の直営2クラブを新規出店いたしました。

この結果、当第1四半期末のクラブ数は、直営90クラブ、業務受託6クラブ、フランチャイズ1クラブの計97クラブとなりました。

既存クラブについては、競争環境の激化に加え、原油高等に伴う物価上昇の影響により消費マインドが悪化し、フィットネス会員の入会者数が減少しております。そのため、下表のとおり月末在籍会員数が前年を下回って推移いたしました。売上高については、前年同期比 $\Delta 2.1\%$ となりました。

既存クラブ月末在籍会員数の推移(単位:%)

	(参考) 平成20年3月	当第1四半期			
		4月	5月	6月	3ヵ月累計
前年同月比	$\Delta 2.7$	$\Delta 2.3$	$\Delta 3.2$	$\Delta 4.3$	$\Delta 3.3$

なお、5月に広島クラブ(広島市南区)の内装及び浴室等を改装するリニューアルを行い、競争力の強化を図っております。仙川クラブ(東京都調布市)についても改装を行い、7月にリニューアルオープンいたしました。

また、収益基盤回復に向けて、効率的な販促費の投入や人員配置の最適化などクラブ運営コストの抜本的な見直しに着手し、損益分岐点の引き下げを進めております。

以上の結果、当第1四半期においては、売上高は新規出店効果により81億15百万円(前年同期比1.9%増)となり、利益面では、クラブ運営コストの低減が進んだこと、また直営の新規出店が前年同期の4クラブから2クラブと半減し初期費用が減少したこと等により、営業利益は $\Delta 2$ 億57百万円(同1億11百万円改善)、経常利益は $\Delta 2$ 億62百万円(同1億13百万円改善)となりました。

さらに今後の退店に伴う減損処理等の特別損失75百万円の計上等もあり、四半期純利益については $\Delta 2$ 億39百万円(同1百万円悪化)となりました。

なお、平成20年5月8日に公表いたしました第1四半期の業績予想に対しては、下表のとおり概ね順調に推移いたしました。

平成21年3月期 第1四半期の業績予想と実績との比較(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成20年5月8日公表予想	8,000	$\Delta 410$	$\Delta 430$	$\Delta 290$
実績	8,115	$\Delta 257$	$\Delta 262$	$\Delta 239$
差異	115	152	167	50

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第1四半期末の資産合計は、前期末に比べ3億84百万円増加し、203億69百万円となりました。これは主に前払費用の増加により流動資産合計が2億94百万円増加したことと、新規クラブ開設に伴い敷金及び保証金を差し入れたことにより、投資その他の資産合計が1億81百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第1四半期末の負債合計は、前期末に比べ7億32百万円増加し、129億8百万円となりました。これは主に未払費用や設備関係支払手形の増加により流動負債合計が9億4百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第1四半期末の純資産合計は、前期末に比べ3億48百万円減少し、74億60百万円となりました。これは四半期純損失2億39百万円の計上と前期末配当金1億9百万円の取崩し等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前期末に比べ51百万円増加し、3億42百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、5億63百万円となりました。これは主に税引前四半期純損失3億37百万円、減価償却費3億78百万円、仕入債務の増加額1億51百万円、前受金の増加額1億22百万円によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に使用した資金は、3億72百万円となりました。これは主に敷金及び保証金の差入による支出2億37百万円、有形固定資産の取得による支出1億63百万円によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に使用した資金は、1億39百万円となりました。これは長期借入金返済による支出1億60百万円、配当金の支払額79百万円、短期借入金純増加額1億円によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績については、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも概ね計画通りに推移いたしております。よって、第2四半期累計期間並びに通期の業績予想については、平成20年5月8日の公表数値から変更はいたしておりません。

なお、平成20年6月25日に発表いたしました株式会社リーヴ・スポーツとの合併(合併期日:平成20年8月1日)による業績への影響は、確定次第、公表いたします。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

詳細は、10ページ【簡便な会計処理】をご覧ください。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

詳細は、10ページ【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

詳細は、9ページ【四半期財務諸表のための基本となる重要な事項等の変更】をご覧ください。

5. 四半期財務諸表
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	313,434	265,554
売掛金	688,806	716,924
商品	491,417	508,557
その他	1,423,221	1,131,009
貸倒引当金	△18,370	△17,987
流動資産合計	2,898,509	2,604,057
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,398,044	5,482,608
その他(純額)	2,287,001	2,272,348
有形固定資産合計	※ 7,685,046	※ 7,754,956
無形固定資産	504,656	526,622
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,276,275	6,871,801
その他	2,017,777	2,240,541
貸倒引当金	△12,960	△12,960
投資その他の資産合計	9,281,092	9,099,382
固定資産合計	17,470,796	17,380,962
資産合計	20,369,305	19,985,019

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	289,890	151,723
買掛金	150,725	137,599
短期借入金	3,900,000	3,800,000
未払法人税等	36,492	44,818
前受金	714,056	591,733
賞与引当金	192,397	277,854
その他	3,317,630	2,693,416
流動負債合計	8,601,192	7,697,145
固定負債		
長期借入金	3,320,000	3,480,000
退職給付引当金	485,482	484,488
その他	502,164	514,787
固定負債合計	4,307,647	4,479,276
負債合計	12,908,839	12,176,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,146,804	2,146,804
利益剰余金	3,101,345	3,450,347
自己株式	△56	△56
株主資本合計	7,458,473	7,807,474
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,991	1,122
評価・換算差額等合計	1,991	1,122
純資産合計	7,460,465	7,808,597
負債純資産合計	20,369,305	19,985,019

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	8,115,107
売上原価	7,966,149
売上総利益	148,957
販売費及び一般管理費	※ 406,691
営業損失(△)	△257,733
営業外収益	
受取利息	6,517
受取手数料	4,168
受取保険金	4,038
その他	4,830
営業外収益合計	19,554
営業外費用	
支払利息	23,198
その他	882
営業外費用合計	24,081
経常損失(△)	△262,260
特別損失	
固定資産除却損	6,901
減損損失	67,999
その他	197
特別損失合計	75,099
税引前四半期純損失(△)	△337,359
法人税、住民税及び事業税	17,276
法人税等調整額	△115,414
法人税等合計	△98,137
四半期純損失(△)	△239,221

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位: 千円)

	当第 1 四半期累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 6月 30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失 (△)	△337,359
減価償却費	378,874
固定資産除却損	6,901
減損損失	67,999
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	993
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	383
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△85,457
受取利息及び受取配当金	△6,559
支払利息	23,198
売上債権の増減額 (△は増加)	28,117
たな卸資産の増減額 (△は増加)	11,271
仕入債務の増減額 (△は減少)	151,292
前受金の増減額 (△は減少)	122,322
その他	244,804
小計	606,784
利息及び配当金の受取額	785
利息の支払額	△22,587
法人税等の支払額	△21,689
営業活動によるキャッシュ・フロー	563,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	9,912
有形固定資産の取得による支出	△163,638
無形固定資産の取得による支出	△9,505
敷金及び保証金の差入による支出	△237,002
敷金及び保証金の回収による収入	15,540
その他	12,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△372,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000
長期借入金の返済による支出	△160,000
配当金の支払額	△79,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,294
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	51,578
現金及び現金同等物の期首残高	290,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 342,492

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
1	<p>棚卸資産の評価に関する会計基準の適用</p> <p>当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づき簿価を切下げる方法)に変更しております。</p> <p>この変更により、前事業年度と同一の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。</p>

【簡便な会計処理】

当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
1 一般債権の貸倒見積高の算定方法 当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2 棚卸資産の評価方法 当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。
3 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第1四半期会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額 9,927,089千円	※ 有形固定資産の減価償却累計額 9,600,858千円

(四半期損益計算書関係)

第1四半期累計期間

当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
※ 販売費及び一般管理費の主なもの	
従業員給料及び賞与	89,838千円
賞与引当金繰入額	14,375千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在)	
現金及び預金	313,434千円
預け金(流動資産その他)	29,057千円
現金及び現金同等物	342,492千円

(株主資本等関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期会計期間末
普通株式(株)	19,960,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期会計期間末
普通株式(株)	83

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成20年5月22日 取締役会	普通株式	利益剰余金	109,779	5.50	平成20年3月31日	平成20年6月27日

(2) 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

4 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第1四半期会計(累計)期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

所有件移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当四半期会計期間におけるリース取引残高は、前事業年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)

デリバティブ取引の四半期会計期間末の契約額等は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)		前事業年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	373.77円	1株当たり純資産額	391.21円

2 1株当たり四半期純損失

当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
1株当たり四半期純損失	△11.99円

- (注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純損失については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり四半期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
四半期損益計算書上の四半期純損失(千円)	△239,221
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純損失(千円)	△239,221
普通株式の期中平均株式数(千株)	19,959

(重要な後発事象)

当第1四半期会計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

(株式会社リーヴ・スポーツの吸収合併について)

当社は、平成20年8月1日付けで株式会社リーヴ・スポーツを吸収合併いたしました。

(1) 被取得企業の概要、企業結合を行った主な理由、企業結合日、企業結合の法的形式及び結合後企業の名称

① 被取得企業の概要

イ 名称

株式会社リーヴ・スポーツ

ロ 事業の内容

フィットネスクラブ、スイミングスクール、テニススクール、ゴルフスクール等のスポーツクラブ事業及びその関連事業

ハ 規模(平成20年3月期現在)

売上高	3,607百万円
当期純利益	37百万円
純資産	750百万円
総資産	2,218百万円
従業員数	392名

② 企業結合を行った主な理由

スポーツクラブを全国展開する当社と、首都圏を中心にスポーツクラブを展開する株式会社リーヴ・スポーツが合併することにより、事業の拡大を図り、競争力の強化を進めてまいります。

また、株式会社リーヴ・スポーツの親会社である三菱地所株式会社と資本関係を築くことにより、三菱地所株式会社が有する不動産デベロップメント力と当社が有するスポーツクラブ運営のノウハウ及び健康ソリューション力とを相互に提供し、相互にメリットのある提携関係を構築することを目的としております。

③ 企業結合日

合併の効力発生日は、平成20年8月1日としております。

④ 企業結合の法定形式

当社を存続会社とする吸収合併(会社法第796条第3項に定める簡易合併)

⑤ 結合後企業の名称

株式会社ルネサンス

当第1四半期会計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

(2) 株式の種類別の交換比率及びその算定方法並びに
交付した株式数及びその評価額

① 株式の種類別の交換比率

株式会社リーヴ・スポーツの普通株式1株に
対して株式会社ルネサンスの普通株式330株

② 株式交換比率の算定方法及び算定根拠

当社は、本合併に用いられる合併比率の算定
にあたって公正性を期すため、第三者機関に両
社の企業価値の算定を依頼いたしました。

第三者機関は、両社について将来の事業活動
の状況の評価に反映するため、DCF(ディスカ
ウンテッド・キャッシュフロー)方式を主たる指
標として採用しております。また、参考として、
当社については市場株価基準方式、および修正
簿価純資産方式による分析等を、株式会社リー
ヴ・スポーツについては類似会社比準方式、お
よび修正簿価純資産方式による分析等を行って
おります。

上記算定結果に基づき、合併当事者間におい
て慎重に協議の上、株式交換比率を決定してお
ります。

③ 交付した株式数及びその評価額

交付した株式数	1,419,000株
交付した株式の評価額	610,170千円

(3) 会計処理の概要

本合併に係る会計処理はパーチェス法を適用
しております。

企業結合日(平成20年8月1日)に受入れた資
産及び引き受けた負債の額については算定中
であり、現時点では確定しておりません。

また、発生するのれん金額及び償却期間等につ
いても現時点では未定であります。

【参考】

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
I 売上高	7,961,086
II 売上原価	7,941,784
売上総利益	19,302
III 販売費及び一般管理費	388,745
営業損失	△369,443
IV 営業外収益	12,234
V 営業外費用	18,791
経常損失	△376,001
VI 特別利益	3,697
VII 特別損失	19,310
税金等調整前四半期純損失	△391,614
税金費用	△153,775
四半期純損失	△237,838

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△391,614
減価償却費	360,999
売上債権の増加額	△18,628
たな卸資産の減少額	7,941
前払費用の増加額	△140,962
仕入債務の増加額	105,182
前受金の減少額	△16,486
その他	1,541
小 計	△92,025
利息及び配当金の受取額	697
利息の支払額	△12,442
法人税等の支払額	△31,706
営業活動によるキャッシュ・フロー	△135,476
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△588,824
無形固定資産の取得による支出	△26,336
有形固定資産売却による収入	48,476
敷金・保証金の差入による支出	△104,837
その他	29,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△642,481
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増加額	1,100,000
長期借入金返済による支出	△85,000
配当金の支払額	△249,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	765,500
IV 現金及び現金同等物の減少額	△12,457
V 現金及び現金同等物の期首残高	440,177
VI 現金及び現金同等物の第1四半期末残高	427,719